

年頭のごあいさつ

南部町長 佐野和広

新年あけましておめでとございませす。新春の慶びを皆様とともに分かち合いたいと思います。

さて、長引くコロナウイルス感染症が私達の行動様式に大きな変化をもたらしましたが、ここに来まして、人々の心の中に少しずつ従来の生活を取り戻そうという動きが見られます。まだまだ安心はできませんので、私達はこれまで言われてきた最低限のマナーだけは、引き続き守ってまいります。

昨年はロシアによるウクライナ侵攻という世界を震撼させる紛争で新しい年が始まりました。今なお解決の糸口が見つからない状態が続いておりますが、一刻も早く両国民に平穏な日々が訪れることを願わずにはられません。日本に於いても、安倍元首相が凶弾に倒れるという痛ましい事件が起きました。安倍元首相とは何度となくお会いし、その人柄の良さに親しみを覚え、敬服しておりましただけに、私には大きな衝撃でありました。

私事ですが、昨年10月にかねてからの念願でありました鹿児島県の知覧特攻平和会館を訪問しました。平和会館では3時間を費やし、隊員の直筆の手紙を拝読し、改めて戦争の悲惨さ平和の尊さを全身で感じ取ってまいりました。時代背景は違いますが、あの若者達の気概を持ち続ければ何事にも対処できるような気がしま

す。この体験が私に大きなパワーを与えてくれたのは間違いありません。

暗い報道が続いた中ではありましたが、嬉しいニュースも飛び込んで来ました。Jリーグで低迷が続いていたVフ甲府が天皇杯でJチームを次々と破り、日本に輝くという快挙を成しとげました。

さらに年末には、サッカー日本代表がカタルワールドカップで格上のドイツ、スペインを破り、決勝リーグ進出という素晴らしい成果を挙げました。その勝利に日本国中が歓喜したのは、ご承知のとおりです。スポーツが多くの国民にこれほどまでに勇気と感動を与えてくれるものだと、改めてスポーツの持つ魔力、底力を知らされました。

ところで、今年4月には統一地方選があります。私自身も対象者ですので、この場で具体的な話は控えさせていただきますが、町の現状だけは少しお伝えしたいと思っております。

中部横断道自動車道が全線開通したところにより、その波及効果はいろいろなところで現れております。「道の駅」の活況は言うまでもありませんが、本町の知名度が大いに上がりました。それにより、町に興味を持っていただける方が増えております。その方々をいかに定住や事業展開に結びつけるかが、今後の大きな課題であります。さらにその動きに拍車を

かけるのが、悲願でありました新々富士川橋（正式名、富士川かりがね橋）の完成であります。こちらは、令和5年度中には開通致します。そのことを見越して、これまで企業誘致や本町独自の教育制度、子育て支援策、多目的広場の創設など持続可能な町づくりに向けての施策を行ってまいりました。今後、間違いなく大きな成果となつて現れてくると思っております。この場では、具体的なお話を申し上げる時ではありませんので、この程度に止めておきますが、魅力ある町に変わっていくのは確かです。

今年の干支「癸卯（みずのとこ）」は、中国の「陰陽五行思想」によれば「寒気が緩み萌芽を促す年」になると言われています。コロナ禍以降、停滞し続けていた世の中にそろそろ希望の芽吹く春が訪れそうであります。ただし、今まで培ってきた自身の力が試される年であることを示唆しているため、最後まで諦めず希望を持ち続けながら、なおかつ無理をしすぎない事が道を開く鍵である、とあります。私も、この言葉を信じながら、この一年を乗り切りたいと思っております。

町民の皆様には、健康で幸多き年となります様、心から御祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

